

7つの関係機関が連携！

8月11日、鹿屋市と国や県など7関係機関において、適切な森林整備を推進するため「鹿屋市豊かな森林づくり推進協定」を締結しました。

この協定に基づき、市有林の立木評価等の調査や長期施業計画の策定を行います。また、国有林や市有林などの効率的な森林整備が可能な範囲を「森林共同施業団地」として設定していきます。

具体的には、作業計画を作成し、施業の集約化、効果的な作業道及び中間土場の整備などに関係機関が連携して取り組んでいきます。

協定の期間は平成35年3月31日までで、その後延長できるものとなっています。



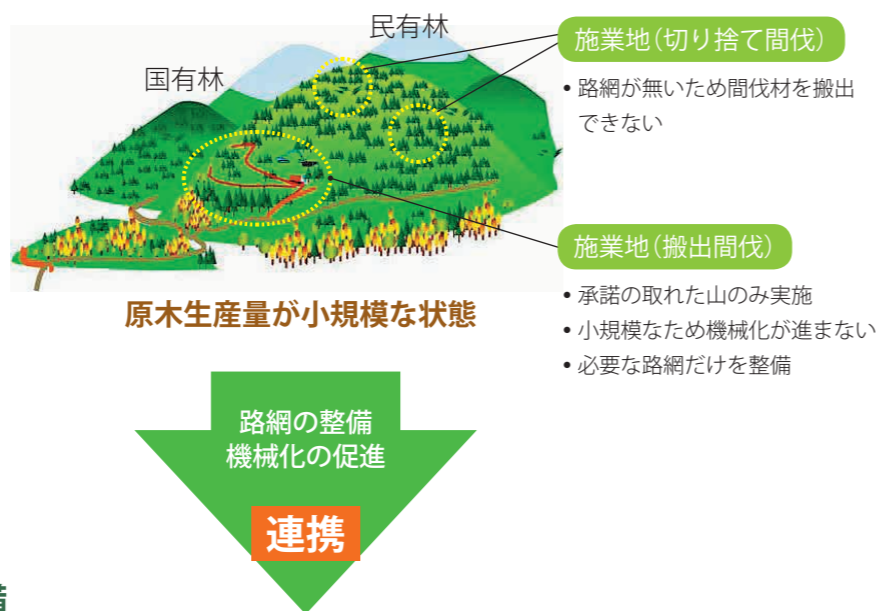
▲ 鹿屋市豊かな森林づくり推進協定

『森林の集約化』を進めます！

市では、現在、森林再生に必要な森林整備を進めるために、「森林の集約化」を進めています。

森林の集約化は、所有者が異なる小規模な面積の森林を取りまとめることで、計画的かつ効率的な森林整備が可能となります。また、集約化には、5年間の森林の施業および保護についての計画となる「森林経営計画」の作成が必要となります。この計画を作成することで、間伐などにおける造林補助金を受けられることから、森林所有者の負担を軽減して、森林整備を行うことができます。

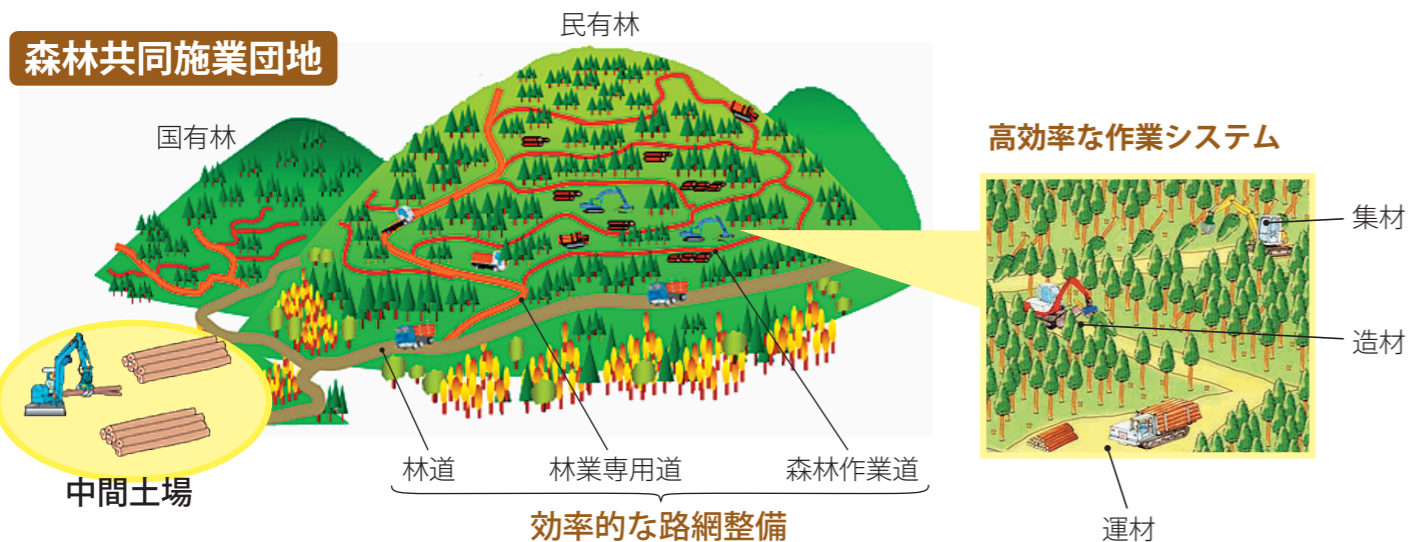
①集約化前の小規模な森林



②集約後の計画的で効率的な森林整備

面積規模に関わらず、国有林、民有林など所有者形態の異なる隣接した森林をまとめます。

おおむね25～30ヘクタール以上の森林を一つの団地とします。まとめた森林をエリアごとに分け、間伐などの施業を計画的に行い、資源として充実してきた森林を効率的に整備し、まとめて木材を供給していきます。

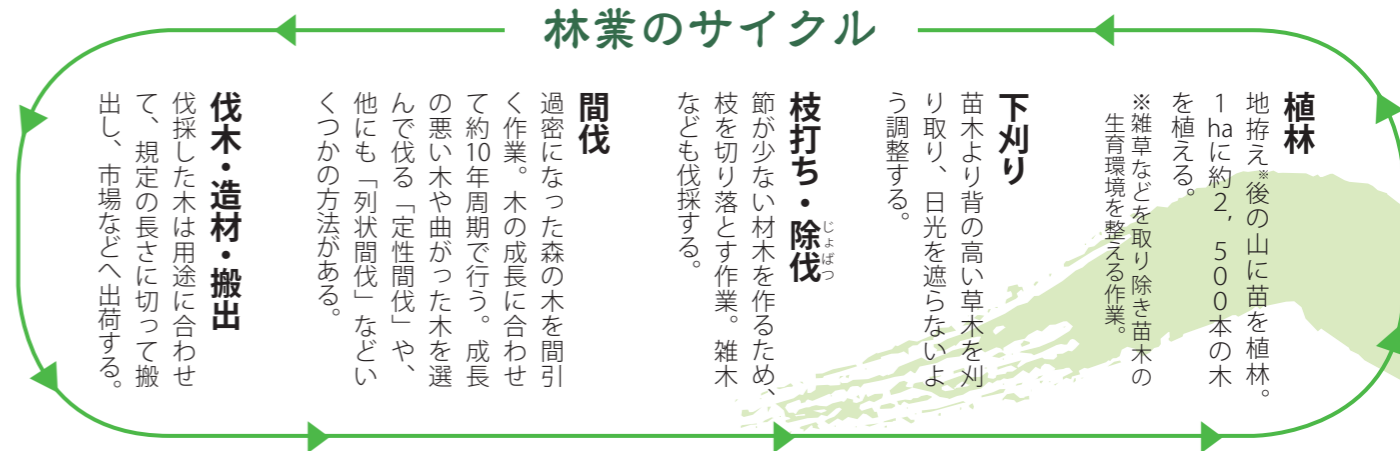


市では木質資源を最大限に活用して林業を再生していきます！



① 植林
② 造材
③ 運材
④ 伐木

林業のサイクル



誰もが綺麗と思える山をつくる

有馬林業
有馬孔駿さん
(吾平町麓・29歳)

私 が林業に携わって今年で10年になります。一言で林業と言っても、その仕事内容を知っている人は少ないと思いますが、主にスギやヒノキの間伐の仕事をしています。初めは辛くて何回も辞めたいと思いましたが、今は誇りを持って一生向き合っていこうと思っています。鹿屋には整理が行き届かず、荒れた山林が沢山あるので、これからは、林業を知らない人が見ても「綺麗な山だな」と思ってもらえる山作りをしていきたいです。

また、日頃から支えて下さる方々に感謝しつつ、鹿屋の林業の未来に貢献できるように努力していきたいと思っています。

森林・林業の将来像

大隅森林管理署
署長 山口輝文さん
(田崎町・48歳)



最 近耳にするようになった地方創生という言葉。これは地方が疲弊していることの現れでしょう。一方、地方には収穫の時を迎えようとする豊かな森林があります。鹿屋市では、この資源を利用しながら新たな森林を作る取組が始まりました。先人達が心血を注いで育ててきた森林資源を利用しながら、次の世代のために各機関が所有や行政の垣根を超えて連携し、将来にわたって持続的に利用できる森林を作り上げようというものです。それができた時、鹿屋市の森林は林業の再生のみならず地域の活性化に大きく貢献する存在になると期待しています。

森林を守る人たち